

多様性と公共図書館

和氣 尚美 WAKE Naomi

慶應義塾大学 文学部 図書館・情報学専攻

wake@keio.jp

CONTENTS

1.はじめに

2. コミュニティの今を知る
3. 多様性に配慮した空間づくり
4. 多様性をコレクションに反映させる
5. 連携・協力による多様な人の参画
6. おわりに

2

自己紹介

■ 所属：

慶應義塾大学 文学部 図書館・情報学専攻 助教

■ 専門分野：

図書館情報学、公共図書館論

■ 主な関心：

社会的に不利な立場に置かれた人びと（移民・難民、
経済的困窮者など）と公共図書館との関係について主に研究

■ 主な著書：

『越境を経験する：デンマーク公共図書館と移民サービス』
(松籟社, 2022) など

あらゆる人が無償で時間を気にせずに滞在できる

公共図書館はそもそも
ユニバーサルな（万人に向けた）場

■ そもそも役割に多様性を包含している公共図書館

UNESCO 公共図書館宣言

- UNESCO加盟国が公共図書館の本質的役割や目的、運営の原則についての共通認識を表明したもの
- 1949年に宣言
- 1972年、1994年、2022年に改定
- 2022年版 IFLA-UNESCO「公共図書館宣言」

5

■ IFLA-UNESCO「公共図書館宣言」(2022) : 公共図書館

公共図書館

- 公共図書館のサービスは、年齢、民族性、ジェンダー、宗教、国籍、言語、あるいは社会的身分やその他のいかなる特性を問わず、すべての人が平等に利用できるという原則に基づいて提供される。理由は何であれ、通常のサービスや資料の利用ができない人々、たとえば言語上の少数グループ（マイノリティ）、障害者、デジタル技能やコンピュータ技能が不足している人、識字能力の低い人、あるいは入院患者や受刑者に対しては、特別なサービスと資料が提供されなければならない。
- いかなる年齢層の人々もその要求に応じた資料を見つけ出せなければならない。（以下略）
- コレクション（蔵書）およびサービスは、いかなる種類の思想的、政治的、あるいは宗教的な検閲にも、また商業的な圧力にも屈してはならない。

日本図書館協会「IFLA-UNESCO公共図書館宣言 2022年」 <https://www.ila.or.jp/library/gudeline/tabid/1018/Default.aspx>

6

■ 1994年版から2022年版への変更点(1)

■ 公共図書館の対象に関する記述の主な変更点

- “race”(人種)から“ethnicity”(民族性)への変更
- “sex”(性別)から“gender”(ジェンダー)への変更
- “poor digital or computer skills”(デジタル技能やコンピュータ技能が不足している人)の追加
- “poor literacy abilities”(識字能力の低い人)の追加

7

■ IFLA-UNESCO「公共図書館宣言」(2022) : 公共図書館の使命

公共図書館の使命

情報、識字、教育、包摂性、市民参加、および文化に関連した以下の基本的使命を公共図書館サービスの核にしなければならない。これらの基本的使命を通じて、公共図書館は持続可能な開発目標（SDGs）と、より公平で人道的な持続できる社会の建設に貢献する。

（以下略）

日本図書館協会「IFLA-UNESCO公共図書館宣言 2022年」 <https://www.ila.or.jp/library/gudeline/tabid/1018/Default.aspx>

8

■ 1994年版から2022年版への変更点(2)

■ 公共図書館の使命に関する記述の主な変更点

- “inclusivity”（包摂性）や“civic participation”（市民参加）の追加
- 持続可能な開発目標（SDGs）および、持続できる社会の構築に貢献する旨の追加

■ より包摂的な表記になっている。

- デジタルディバイド（情報格差）や識字の問題にも貢献していく姿勢を提示している。
- 包摂性や市民参加が使命に明記されている。

→ 多様な利用者の情報・文化へのアクセス保障は図書館の普遍的役割

→ 一層多様化する社会へ対応し、より多様な人びとを包摂することが求められている。

9

■ 豊橋市でのフィールドワークより

豊橋市立図書館ブックスタート事業の健診会場での観察調査より

“これ（ブックスタートで配布する絵本）はもらえますか？”

“図書館はタダで使えますか？私も使っていいですか？”



ブックスタートとは

- 0歳児健診などの機会に、絵本をひらく「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動。
 - 行政と市民が協働する自治体の事業として、全国1128自治体で実施中（約65%）。
- NPOブックスタート「絵本は『読めれば』楽しめる？～母語・母文化を尊重する意義～」
<https://www.bookstart.or.jp/1949/>

10

- そもそもユニバーサルな仕組みである公共図書館という存在
- 真に情報・文化へのアクセスを必要としている人から
「見えていない」可能性がある
どうすれば、真にニーズを持つ人びとの生活圏において
 - ・可視化され
 - ・アクセシブルな場になるだろうか

11

CONTENTS

1. はじめに

2. コミュニティの今を知る

3. 多様性に配慮した空間づくり

4. 多様性をコレクションに反映させる

5. 連携・協力による多様な人の参画

6. おわりに

12

■ 多様性の輪 (Diversity Wheel)

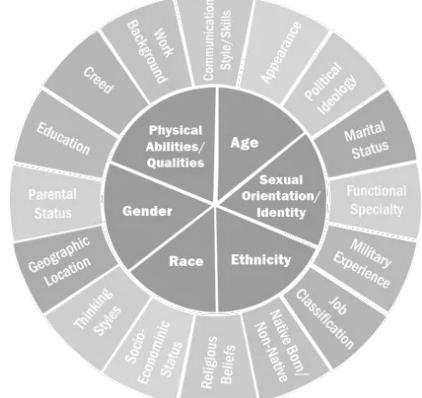


図 ローデンの多様性の輪

Loden, M. & Rosener, J. (1990). *Workforce America! Managing employee diversity as a vital resource*. McGraw-Hill.

多様性とは重層的で多面的

- 1990年代にローデンとローゼナーが提唱した論理モデル。二重の円で構成される。
- 中心的次元（内円）：個人がコントロールすることができず、生涯を通じて比較的不变である生来的な要素。
(年齢、人種、民族、性的指向、身体的能力など)
- 二次的次元（外円）：後天的に変化しうる、あるいは個人がある程度選択できる要素。
(学歴、職歴、地理的な場所、宗教、収入、婚姻状況、所属組織など)

13

■ IFLA多文化社会図書館サービス分科会 多文化コミュニティ 第3版

多文化図書館サービスは、サービス対象である文化的に多様なコミュニティと、彼らのニーズについての知識に基づかなければならない。

この知識は、居住するコミュニティの特徴や環境を確認することを含む**コミュニティ分析**と、コミュニティで要求され利用される情報とその入手可能性を研究することを含む**ニーズ評価**を行うことにより得られる。

IFLA, "Summary - Multicultural Communities: Guidelines for Library Services,"
<https://www.ifla.org/publications/summary-multicultural-communities-guidelines-for-library-services?og=73>

14

Wiegand, Wayne A

(米国・図書館情報学者)

“利用者の生活／人生の中での図書館” (the library in the life of the user)

(当然ながら)

図書館内にいるだけでは見えない、
住民の生活実態、実情がある

Wiegand, Wayne A. 『生活の中の図書館：民衆のアメリカ公立図書館史』[Part of our lives : a people's history of the American public library]川崎良孝訳,京都図書館情報学研究会,日本図書館協会,2017,429p.

15

■ IFLA/UNESCO多文化図書館宣言 ツールキット：コミュニティ分析(1)

コミュニティ分析

- 収集すべきデータの種類:
 - ① 個人、コミュニティグループ、またはグループのリーダーから
 - ② 政府機関、経済・産業調査、マーケティング研究、地元商工会議所、地元の団体により集められ記録されているデータ

□ 人口統計と社会経済的データ

- 図書館が所管する区域内の**コミュニティ環境の特徴**
- コミュニティの情報環境

IFLA, "IFLA/UNESCO Multicultural Library Manifesto Toolkit,"
<https://www.ifla.org/node/8977>

16

■ 人口統計：外国人比率の高い自治体

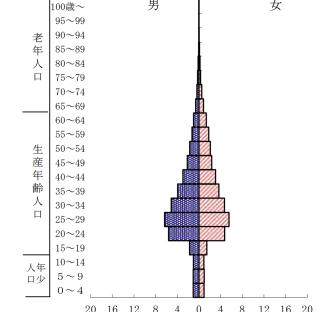
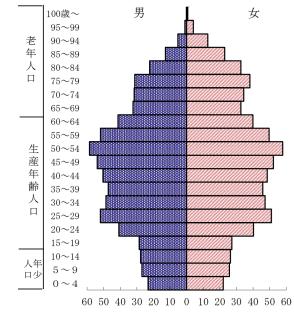
外国人住民比率が1割を超えた27市区町村			
市区町村名	比率(%)	市区町村名	比率(%)
北海道 占冠村	36.6	長野県 野沢温泉村	12.1
北海道 赤井川村	35.3	横浜市 中区	12.0
大阪市 生野区	23.3	三重県 木曽岬町	11.8
群馬県 大泉町	21.3	長野県 小谷村	11.3
北海道 俱知安町	21.2	茨城県 常総市	11.3
北海道 留寿都村	19.8	神奈川県 箱根町	11.3
北海道 二セコ町	19.0	名古屋市 中区	10.9
長野県 白馬村	18.3	神戸市 中央区	10.7
大阪市 浪速区	16.6	岐阜県 美濃加茂市	10.7
大阪市 西成区	14.4	愛知県 飛島村	10.6
東京都 新宿区	13.6	東京都 荒川区	10.6
埼玉県 藤市	12.5	群馬県 草津町	10.5
沖縄県 恩納村	12.4	大阪市 中央区	10.4
東京都 豊島区	12.3	全国	3.0

※2025年1月1日時点の住民基本台帳人口から算出。
政令指定都市の行政区を含む1892市区町村を集計

「外国人1割超、27市区町村に 全国35万人増、地場産業担い手」共同通信, 2025-11-03
<https://news.jp/i/1357807070968201851?c=302675738515047521?c=302675738515047521>

17

■ 人口統計：東京都人口ピラミッド(2025.1.1現在)



東京都人口の5歳階級別人口で最も多い階級は、50～54歳（1,125,701人）
 外国人の5歳階級別人口で最も多い階級は、25～29歳（118,573人）

東京都「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」<https://www.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2025/03/2025031902>

18

■ 人口統計：年齢区分別外国人人口(2025.1.1現在)

東京都 区市町村別 年齢3区分別 外国人人口 上位6位

順位	自治体名	年少人口(0～14歳)	生産年齢人口(15～64歳)	老年人口(65歳以上)	外国人合計			
1	新宿区	2742	5.70%	43400	90.23%	1955	4.06%	48097
2	江戸川区	6496	13.55%	39664	82.75%	1772	3.70%	47932
3	足立区	4729	10.75%	36249	82.39%	3018	6.86%	43996
4	江東区	4916	12.43%	32651	82.53%	1994	5.04%	39561
5	板橋区	2814	7.51%	33163	88.48%	1504	4.01%	37481
6	豊島区	1690	4.65%	33682	92.63%	988	2.72%	36360

東京都「住民基本台帳による東京都の世帯と人口（町丁別・年齢別）/令和7年1月」
<https://www.toukei.metro.tokyo.lg.jp/juukiy/2025/jy25000001.htm>

19

■ IFLA/UNESCO「多文化図書館宣言」ツールキット：ニーズ評価(2)

ニーズ評価

■ 収集すべきデータの種類:

① 個人、コミュニティグループ、またはグループのリーダーから

② 類似した集団のニーズ評価、特定の利用者集団の情報探索過程の文化的・行動的側面の調査

□ 情報探索プロセスの文化的・行動的側面

□ 情報ニーズ（例：種類、形態、言語、目的）

□ 利用者の情報環境

メディエーター
(情報仲介者)
になる可能性有

例) 口コミ情報への信頼

例) 就職情報、語学資料、
子育て、医療健康情報など

IFLA, "IFLA/UNESCO Multicultural Library Manifesto Toolkit," <https://www.ifla.org/node/8977>

20

CONTENTS

- はじめに
- コミュニティの今を知る

3.多様性に配慮した空間づくり

- 多様性をコレクションに反映させる
- 多様な人の参加を促す
- おわりに

21

■ カームダウンスペース

■ カームダウンスペース クールダウンスペース

光や音などの感覚の刺激を遮断することで、感覚過敏によるストレスの軽減やパニックの回避やクールダウンに使用できるスペース。



佐賀県立図書館「誰もが心地よく利用できる空間」 https://www.tosyo-saga.jp/page_id581

23

■ アクセシブルな空間作り 佐賀県立図書館 みんなの森

馬場麻理子「佐賀県立図書館
「みんなの森」開室について」
『カレントアウェアネス-E』
No. 450, 2023.01.19
<https://current.ndl.go.jp/e2568>

佐賀県立図書館「みんなの森」
<https://www2.tosyo-saga.jp/kentosyo/minnanomoritirashi>



22

■ アクセシブルなまちづくり 佐賀県 さがすたいる

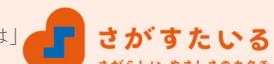
お年寄りや、子育て・妊娠中の方、性別や国籍の違い、障がいの有無など、多様な人々が同じ街で暮らしています。
「さがすたいる」は多様な人々が混ざり合い、お互いの想いを知り、ハード(設備)とハード(支え合い)でみんなが安心して出かけやすい佐賀をみんなでつくるプロジェクトです。

お互いを知る、認め合う、寄り添う、準備する、見守る、声をかけあう、手伝うといったしぜんの「やさしさ」が当たり前になることで、みんなが自分らしく輝ける未来を目指します。



やさしさで支え合い みんなが過ごしやすくなる

佐賀県・県民環境部・県民協働課
さがすたいる担当「さがすたいるとは」
<https://saga-style.jp/about/>



24

■ センサリーマップ

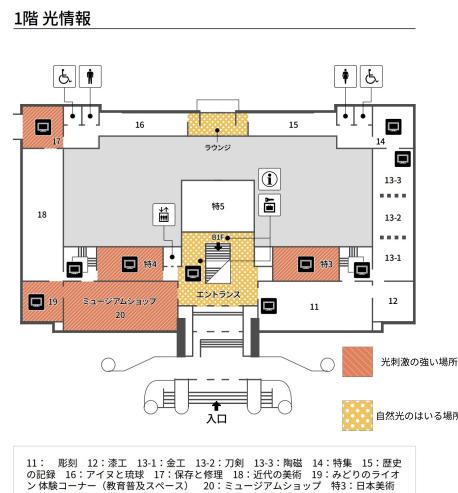
■ センサリーマップ

視覚、聴覚、嗅覚などの五感情情報をマップに追加したもの。

■ センサリーマップの事例

海外ではさまざまな感覚特性の人が過ごしやすいように、美術館や博物館、水族館、動物園などで園内地図・館内地図に五感情報が掲載されているケースが増えてきている。

東京国立博物館「センサリーマップ本館」
https://www.tnm.jp/modules/r_free_page/index.php?id=2588



25

■ 多言語であいさつを掲示 豊島区立中央図書館



写真：報告者撮影

26

■ やさしい日本語を用いた案内 豊島区立中央図書館



参考

- 阿部治子・加藤佳代・新居みどり『図書館員のための「やさしい日本語」』日本図書館協会, 2023, 87p.
- 出入国在留管理庁「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」
https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/plainjapanese_guideline.htmlb
- 文化庁「在留支援のためのやさしい日本語ガイドラインほか」
https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/92484001.html

27

■ ピクトグラムの活用 コミュニケーションボード

話し言葉によるコミュニケーションが困難な方に対して、分かりやすいイラストを指さしながら意思を伝えることができるツール。



千葉市図書館

「コミュニケーションボード・やさしいりようあんない」

<https://www.library.city.chiba.jp/service2/service11.html>

28

CONTENTS

- はじめに
- コミュニティの今を知る
- 多様性に配慮した空間づくり
- 多様性をコレクションに反映させる**
- 多様な人の参加を促す
- おわりに

29

読書バリアフリー法

誰もが読書をできる
社会を目指して

■ 利用者が読書のカタチ
を選べるよう、多様な
形式で提供する。

2019年6月に
「読書バリアフリー法^①」が
成立しました！

① 正式名称は「障害者等の読書権の尊重に関する法律」です

「読書バリアフリー法」とは？

障害の有無に関わらず、すべての人が読書による
文字・活字での情報を受け取れるようにするための法律です。
さまざまな障害のある方が、利用しやすい形式で
本の内容をアクセスできるようにすることを目指しています。

どんなことが変わる？

図書館の本も、書店で販売される本も、一層利用しやすい形式に
なっています。ぜひ、図書館の本やサービスを利用してみてください。

紙の本

点字の本ほか、文字の大きさやフォントを変えて読みやすくした本が
入手しやすくなります。

デジタルの本

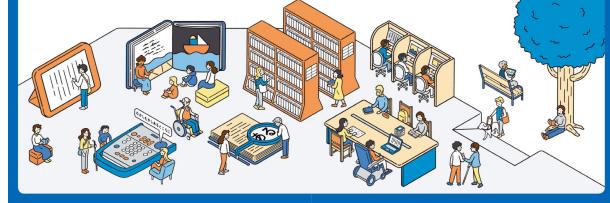
パソコン・タブレット・スマートフォンを使って、さまざまな機器な
機器により、自分で合った方法で読める本が作れます。

● 文字の大きさや色を変える

● 運用によりつながる本を作る

● 内容を声で読み上げる

● スイッチを使ってページをめくる



文部科学省「読書バリアフリー法の推進について」
https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_01304.html

30

多様なメディアの資料を利用者へどう伝えるか

同一タイトルが多様なメディアで展開されている資料
その存在をどう伝えていくか？

- OPAC
- デジタル資源カード
- りんごの棚
- パンフレット、ブックリスト、パスファインダー等
- 利用者教育（講習、カウンターでの案内）
- レファレンスサービス

図書館で利用できるさまざまな本

- 大活字本**
目の見えにくい方にも読みやすいように、
大きな文字で書かれています。
- 点字図書**
点字に転写（点訳）された本です。点を使って
図や絵を表したものと「点図」といいます。
点字と点訳を適切なシートに打って、
絵本に貼った「点訳絵本」もあります。
- LLブック**
やさしい言葉でわかりやすく書かれた本です。
ピクトグラム（絵文字）や写真・図を使って
理解を助けています。
- 布の絵本・さわる絵本**
布・革・紙などを用いて作られた絵本で、
触って絵がわかるなどになっています。
ボタンをとたり、ひもを透す仕掛けがあり、
楽しみながら読むことができます。
- DAISY^②**
② (Digital Accessible Information System)（アクセシブルな情報システム）の略称です
デジタル音声読書の国際標準規格です。
図書の有無に関わらず、すべての人が読書による
文字・活字での情報を受け取れるようにするための法律です。
③ 音声DAISY
図書や記事を音声で録音して音声にしたもので、
図や写真の説明も入っています。
目次やページ数が録音されているので、
本をめくるよりも簡単にできます。
音声の大きさや背景の色も変えることができます。
- マルチメディアDAISY**
文字や映像をハイブリットしながら、
その部分の音声と一緒に読むことができます。
パソコンやスマートフォンなどを使って再生します。
文字の大きさや背景の色も変えることができます。
- 電子書籍**
目の見えにくい方などに配慮した電子書籍は、パソコン・スマートフォン・
専用機器を使って、目次から読みたいページに移動したり、文字の大きさ・
色・フォント・背景の色を変えることができます。
内容を音声で読むことができる電子書籍も増えています。

文部科学省「読書バリアフリー法の推進について」
https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_01304.html

31

32

りんごの棚 志布志市立図書館

■ アクセシブルな資料のコーナー

誰でも読みやすい本が配架されている

- 点字のついた本
- LLブック
- 布やスポンジでできた本
- さわって楽しむ絵本
- 手話絵本
- 大活字本 など



志布志市立図書館「りんごの棚をはじめました」
<http://www.shibushicity-lib.jp/「りんごの棚」を作りました！>

33

忘れられないことを実感できる書架づくり

「少数言語の本は1冊でもあることに意味がある」

米田雅朗 館長（新宿区立大久保図書館）

米田雅朗 「図書館は外国人住民のシェルターになる：多国籍タウン・大久保と向き合って」『中央公論』中央公論新社 <https://chuokoron.jp/society/125067.html>

35

デジタル情報資源カード

Yomokka!で
読める関連本



※Yomokka!にログインしてから
ひらいてね！

MottoSokka! | ポプラ社:防災



MottoSokka! | ポプラ社:防災 2



MottoSokka! | ポプラ社:
防災グッズがわかる本

東京学芸大学附属竹早小学校 デジタル情報ナビ

宮崎伊豆美「デジタル情報を展示する」先生のための授業に役立つ学校図書館活用データベース
https://www2.u-gakugei.ac.jp/~schoolib_v2/htdocs/nichijoutenji.php?post_id=1380

34

資料内容の多様性

記述言語や資料形態のみでなく、コレクションの内容へも多様性を反映



36

CONTENTS

- はじめに
- コミュニティの今を知る
- 多様性に配慮した空間づくり
- 多様性をコレクションに反映させる

5.多様な人の参加を促す

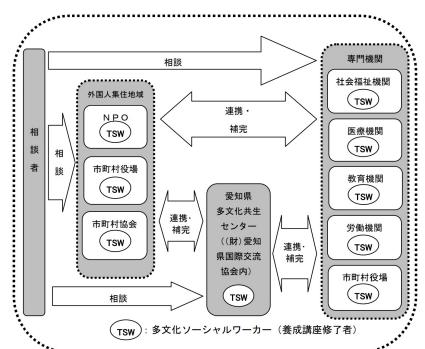
- おわりに

37

多文化ソーシャルワーカーとの協力 愛知県

多文化ソーシャルワーク

人びとが自身の文化と異なる環境に移住し、生活することにより生じる心理的・社会的問題に対応するソーシャルワーク



愛知県内における多文化ソーシャルワーカーネットワーク現状図

愛知県社会活動推進課多文化共生推進室「多文化ソーシャルワーカーガイドブック」
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/tabunka/0000038742.html>

39

「図書館はあらゆる人のための場であるが、(図書館自体が) あらゆることをするのではない」 ソーシャルワーカーとの連携

コペンハーゲン（デンマーク）、ストックホルム（スウェーデン）
ソーシャルワーカー常駐の図書館増加

- 福祉サービスとの接続強化
- 市民の生活課題の早期発見→専門家への接続
- 図書館員の専門的職務への従事
- 図書館員のバーンアウト回避

Lisbeth Overgaard Nielsen, "Biblioteket er for alle, men ikke til alt," *Danmarks Biblioteker*, No. 5/6, 2024.
<https://db.dk/bladartikel/biblioteket-er-for-alle-men-ikke-til-alt/>

38

ディスレクシア支援協会との協力

保護者交流会

- 文章を読む・文字を書くのに時間がかかる、漢字がなかなか覚えられないなど、読み書きに困難を抱える子をもつ保護者向けの交流会。

- ディスレクシア協会との共同開催。

~~~~~◇ 鶴舞中央図書館・ディスレクシア協会名古屋共催 ◇~~~~~

読み書きが苦手なお子さんの

### 保護者交流会

参加無料

【日時】

7月5日（土）13時～15時

【場所】 鶴舞中央図書館 1階 第一集会室

【対象】 読み書きに支援が必要な子どもの保護者

進行：親子向け相談会の講師メンバーで対応します

片岡さん、吉田さんほか

（ディスレクシア協会名古屋）

同じ悩みをもつ方々と一緒に支援の工夫や体験を話し合い共有します

名古屋市鶴舞中央図書館「読み書きが苦手なお子さんの保護者交流会」

[https://www.library.city.nagoya.jp/oshirase/topics\\_event/entries/20250605\\_01.html](https://www.library.city.nagoya.jp/oshirase/topics_event/entries/20250605_01.html)

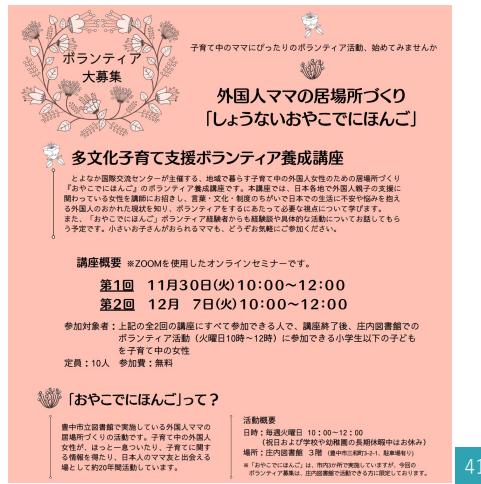
40

## ■ 国際交流協会、ボランティアとの協力

### おやこでにほんご

- 豊中市立図書館で実施している外国にルーツを持つ母親のための居場所づくりの活動。
- 子育て中の外国人女性が一息ついたり、子育てに関する情報を得たり、日本人のママ友と出会える場として約20年間活動。
- 国際交流協会が中心となりボランティアを募り、オンラインで研修を行なっている。

よなか国際交流協会「「しょうないおやこでにほんご」  
多文化子育て支援ボランティア養成講座」<https://www.atoms.info/event/detail.php?id=1885>



41

## ■ NPOブックスタートとの協力

### 多様なニーズを持つ家庭を対象とした各種資料を作成・提供

- 点字つき絵本の非営利価格での提供
- 別冊ハンドブック「障害のある方への対応を考えるために」
- 点字・拡大文字対応「ブックスタート趣旨説明資料」
- 多言語対応絵本紹介シート
- 多言語版 アドバイス ブックレット
- 「赤ちゃんといっしょに はじめまして絵本」
- 多言語対応 ブックスタート紹介シート
- 多言語対応 あいさつポスター

42

## ■ CONTENTS

1. はじめに
2. コミュニティの今を知る
3. 多様性に配慮した空間づくり
4. 多様性をコレクションに反映させる
5. 多様な人の参加を促す

## 6. おわりに

43

## ■ 多様性の輪と図書館サービス

### 多様性の中心的次元と図書館サービス

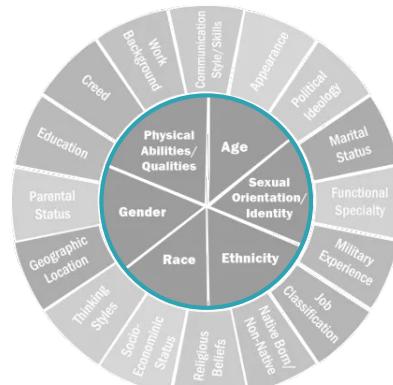


図. ローデンの多様性の輪（再掲）

Loden, M., & Rosener, J. (1990). *Workforce America: Managing employee diversity as a vital resource*. McGraw-Hill.

### ■ 人種・民族：多文化サービスなど

### ■ ジェンダー・性的指向：

### LGBTQ+へのサービス

### ■ 身体的能力：障害者サービス

### ■ 年齢：高齢者サービスなど

### サービスの枠を超えた包括的概念：

### 読書バリアフリー

### 図書館のアクセシビリティ

44

## ■ 交差性と公共図書館サービス

- 従来の日本におけるサービス区分の中では対応しきれない現実がある。

参考) 国立障害者リハビリテーションセンター「「外国にルーツをもつ障害児とその家族への支援状況等に関する調査」結果報告書」

<https://www.rehab.go.jp/application/files/6415/8329/7841/1f63bd41cda006a20a8439467a14aa26.pdf>

### インターフェクショナリティ（交差性）

人種、階級、ジェンダー、セクシュアリティ、国籍、世代、アビリティなどのカテゴリーがそれぞれ別個ではなく、相互に関係し、人びとの経験を形づくっていることを示す概念。

### より広く包摂性を持った視点で交差性を考慮した図書館サービスの提供の仕方を見直す必要がある。

土屋和代・井坂理穂『インターフェクショナリティ：現代世界を織りなす力学』東京大学出版会, 2024. 45

## ■ アドボカシー：誰に向かってどう伝えるか



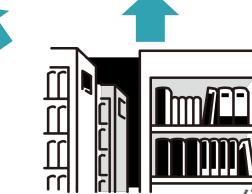
他部署への説明



議会対応



NGO・NPO



公共図書館

### アドボカシー

社会的弱者など、意見や権利を表明が困難な人びとのために、代わりに声を上げたり、支援の必要性を主張したりする活動全般

相手によって響く言葉・表現は必ずしも一様ではない

46

## ■ おわりに

- 多様性への配慮は、追加的なものと別個に捉えられやすいが、多様な文化の尊重という公共図書館の本質を体現したものである。
- 公共図書館はミッションステートメントや施設設備、資料、図書館プログラムなどにコミュニティの多様性を反映させることを通して多様性への尊重を社会に働きかけていくことができる。
- 働きかけの際、従来のサービスの枠組みが必ずしも有効とは限らない。働きかける相手や文脈に応じたアドボカシーが必要となる。

47